

# 和歌山大学生協 うえるかむCampus2022



[ 新学期 ]

## 取り組み概要

日時：4/1(金)、2(土)  
場所：和歌山大学内  
参加者数：631名

背景や概要：入学前に新入生が友達をつくったり、先輩と交流したりできる企画を行いました。キャンパスツアーやクイズ大会などが行われました。

生協以外の学生・団体と協力

### POINT.1

### 新入生に先輩の実感を伝える



うえるかむCampus（通称：うえるきゃん）では1グループ新入生6～8名とGL2名で構成され、アイスブレイクやキャンパスツアー、クイズ大会などを行いました。GLを部活やサークルに所属する上回生が行うことで、新入生が先輩に話を聞けるようになっていました。様々な部活やサークルの先輩が自分たちの大学生活の実感を伝えることで、新入生も様々な話を聞くことができていました。その対話から新入生と先輩のつながりも生まれていました。

### POINT.2

### 新入生の参加率は約7割

うえるきゃんは毎年7割を超える参加者数で開催されています。和歌山大学では入学前に参加するイベントと言えば「うえるきゃん」と認知されており、毎年安定した参加者数を誇っています。大学から新入生へ公式に案内されていることがひとつの要因です。さらに毎年参加した新入生が先輩となり、次の新入生に自分の経験を伝えていくという好循環が生まれているからこそ大規模な企画が行っていました。



### POINT.3

### 他団体とのつながりを維持し毎年開催



うえるきゃんでは生協学生委員会が中心となり、学部自治会や大学祭実行委員会などの在学生や他の学生団体と連携して運営されています。生協がすべてを行うのではなく、学部自治会のメンバーが司会をしたり、大学祭実行委員会が一部企画を担当するなど、様々な団体が丸となって企画を作り上げていました。生協が新入生企画のプラットフォームとなり、他の団体とともに作り上げるという仕組みだからこそつながりを維持できています。